

私たちの会費が日本平和委員会と茨城県平和委員会の活動を支えています

## 土浦平和の会

ニュースNo154 2005年5月

発行 土浦平和の会

事務局 土浦市神立町2664-2

TEL 831-9122

[http://www.geocities.jp/ino011\\_jp](http://www.geocities.jp/ino011_jp)

### GW 行事多彩に

#### 5月1日つくば地区メーデー

つくば地区メーデーは今年もつくば市大清水公園において盛大に行なわれました。壇上からの訴えはやはり憲法をめぐる情勢と九条を守るたたかいの重要性、JR 西日本の尼崎の事故に見られるような、安全性犠牲の合理化、営利主義による労働者いじめや不当差別の実態が告発され、たたかいに対する支援、母親大会への参加・協力、布川事件再審実現への協力の訴えなどさまざまな発言が相次ぎました。

デモ行進の後は例年通り各団体・グループの団らん交流が繰り広げられていました。参加者は47団体、1500人と発表されました。



つくば地区メーデー会場風景

### 憲法記念日を考える土浦市民のつどい

5月3日恒例のつどいがワークヒル土浦でおこなわれました。平和の会の齊藤房雄さんが開会の挨拶。ビデオ上映“昭和と戦争”第3巻(昭和13~15年)と平和委員会製作“あたらしい憲法のはなし”が50分間おこなわれ、日中戦争に突入していく状況や国民生活の変遷、現在の自衛隊海外派兵と憲法九条改悪への動向を学びました。続いて“戦後60年を振り返って、私の体験・憲法の大切さ”と題して憲法九条土浦の会の小笠原徹さん、大竹勉さん、川津こうじさんの3人の話を聞きました。小笠原さんは「国家総動員法」や「治安維持法」にもふれながら、歴史の間違いを正して正しい未来の方向を探るのが民主国家の道と語りました。大竹さんは戦時中の学生時代「学徒動員」で国策に協力させられたが、平和のために憲法を守るのが義務と考えている。中国で日本語を教えていたときの教え子の中に、日本軍に自分の父親を殺された青年がいたが、彼はけっしてそのことを語らなかった。日本が平和憲法を守っていくことによってのみ、アジア諸国の友好関係を維持していくことができると語りました。川津さんは小学校での出前授業のなかで戦時中のことを話しながら、戦争は絶対にダメと話していると語りました。今年の参加者は約100人でした。

## 土浦平和の会総会のお知らせ

と き 5月28日(土) 1時30分から

ところ 神立コミュニティーセンター(変更)

会員だれでも参加できます 誘い合ってご出席ください

## ビデオ“憲法九条土浦の会結成のつどい”

できました (1本1,000円)

申し込み連絡先 土浦市中央1-7-20 小笠原 徹

TEL 029-821-0176

## 「憲法改悪反対」の署名を早急に進めよう!

憲法九条土浦の会が扱っている署名(先に1人2枚ずつお配りしたもの)の回収が遅れています。とにかく足を出してみましょ。マスコミの影響を受けて、九条改悪反対の声がだんだん小さくなっていきます。こちらの呼びかけが遅ればなおさらです。みんなでがんばりましょ。

新しいなかま紹介 小笠原 徹さん、高橋 泉さん の2人です

昨年度6人増えたのに、転居その他で5人減ってしまいましたが、今年5月から新しい会員が2人増えて、5月3日現在77人になりました。

### 活動ごよみ

- |                         |                              |
|-------------------------|------------------------------|
| 5・1 つくばメーデー(大清水公園9:30)  | 5・21 県平常任理事会(水戸青少年会館)        |
| 5・3 憲法記念日を考えるつどい(ワークヒル) | 5・22 茨城県母親大会(土浦二高)           |
| 5・17 平和の会理事会(4中地区公民館)   | 5・28 土浦平和の会総会(神立コミュニティーセンター) |